

動物実験に関する自己点検・評価報告書

長崎大学

2026 年 9 月

I. 規程及び体制等の整備状況

1. 機関内規程

1) 評価結果 ☒ 基本指針に適合する機関内規程を定めている。 ☐ 機関内規程を定めているが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 機関内規程を定めていない。
2) 自己点検の対象とした資料 ・長崎大学動物実験規則
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点があれば、明記する。） 環境省の「実験動物の飼養及び保管並びに苦痛の軽減に関する基準」（以下「飼養保管基準」という。）と文部科学省の「研究機関等における動物実験等の実施に関する基本指針」（以下「基本指針」という。）に則って、長崎大学動物実験規則が定められている。
4) 改善の方針、達成予定時期 特になし

2. 動物実験委員会

1) 評価結果 ☐ 基本指針に適合する動物実験委員会を設置している。 ☒ 動物実験委員会を設置しているが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 動物実験委員会を設置していない。
2) 自己点検の対象とした資料 ・長崎大学動物実験規則 ・長崎大学動物実験委員会名簿
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点があれば、明記する。） 動物実験を行っていない者が委員会構成員として含まれていなかった。
4) 改善の方針、達成予定時期 令和 8 年度より、委員会構成員として動物実験を行っていない委員を加えた。

3. 動物実験の実施体制

1) 評価結果 ☒ 基本指針に適合し、動物実験の実施体制を定めている。 ☐ 動物実験の実施体制を定めているが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 動物実験の実施体制を定めていない。
2) 自己点検の対象とした資料 ・長崎大学動物実験規則

・サルの飼養に係る手続き等について（学長裁定） ・発がん物質等危険物質を用いた動物実験に関するガイドライン ・長崎大学における実験動物飼養保管施設に係る災害対策マニュアル作成のための指針 ・長崎大学動物実験計画書 ・「長崎大学動物実験計画書」の記入方法 ・長崎大学 動物実験計画書 WEB 申請・審査システム マニュアル ・動物実験等の実施を本学以外の機関に委託等する場合の相談様式 ・動物実験実施状況・結果報告書 ・動物実験の自己点検票（様式 2-1） ・飼養保管施設設置承認の主な判断基準 ・飼養保管施設設置承認申請書 ・飼養保管施設承認内容変更届 ・実験室設置承認の主な判断基準 ・実験室設置承認申請書 ・実験室承認内容変更届 ・施設等（飼養保管施設・動物実験室）廃止届 ・飼養保管状況報告書（年度末現在に飼育する「実験動物の種類と概数」等に係る報告書） ・実験動物飼養保管状況の自己点検票（様式 2-2） ・動物実験に関する検証結果報告書
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点があれば、明記する。） 動物実験に必要な動物実験規則等及び各種申請様式等が適正に定められている。
4) 改善の方針、達成予定時期 「動物実験計画書」の内容をより充実させるために様式の変更を検討する。

4. 安全管理に注意を要する動物実験の実施体制

1) 評価結果 ☒ 基本指針に適合し、安全管理に注意を要する動物実験の実施体制を定めている。 ☐ 安全管理に注意を要する動物実験の実施体制を定めているが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 安全管理に注意を要する動物実験の実施体制を定めていない。 ☐ 該当する動物実験を行っていないので、実施体制を定めていない。
2) 自己点検の対象とした資料 ・長崎大学動物実験規則 ・発がん物質等危険物質を用いた動物実験に関するガイドライン ・長崎大学組換え DNA 実験安全管理規則 ・長崎大学生物災害等防止安全管理規則 ・長崎大学高度感染症研究センター実験棟生物災害等防止安全管理規則

・長崎大学放射性同位元素等安全管理規則 ・長崎大学研究教育用エックス線装置放射線障害防止管理規則 ・長崎大学安全衛生管理規則 ・長崎大学研究用麻薬及び向精神薬取扱規程
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点があれば、明記する。） 遺伝子組換え動物実験や感染動物実験等、安全管理に注意を要する実験について、関連する安全管理に関する規則等が定められている。
4) 改善の方針、達成予定時期 特になし

5. 実験動物の飼養保管の体制

1) 評価結果 ☐ 基本指針と飼養保管基準に適合し、適正な飼養保管の体制である。 ☒ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料 ・長崎大学動物実験規則 ・サルの飼養に係る手続き等について（学長裁定） ・長崎大学における実験動物飼養保管施設に係る災害対策マニュアル作成のための指針 ・飼養保管施設設置承認の主な判断基準 ・飼養保管施設設置承認申請書 ・飼養保管施設承認内容変更届 ・飼養保管マニュアル ・緊急時対応マニュアル ・実験室設置承認の主な判断基準 ・実験室設置承認申請書 ・実験室承認内容変更届 ・施設等（飼養保管施設・動物実験室）廃止届 ・飼養保管状況報告書 ・飼養保管状況（年度末現在に飼育する「実験動物の種類と概数」等に係る報告書） ・実験動物飼養保管状況の自己点検票（様式 2-2） ・動物実験に関する検証結果報告書
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。） 一部の飼養保管施設の飼養保管施設マニュアルについて、飼育環境等の内容をより充実させる必要がある。

4) 改善の方針、達成予定時期

令和 8 年度中に飼養保管マニュアルの見直しを行う。

6. その他（動物実験の実施体制において、特記すべき取り組み及びその点検・評価結果）

令和 7 年度に日本実験動物学会による「動物実験に関する外部検証」を受審し、動物実験の実施体制面において、指摘を受けた事項について、一部対応を済ませ、その他については対応中である。

II. 実施状況

1. 動物実験委員会の活動状況

1) 評価結果 ☒ 基本指針に適合し、適正に機能している。 ☐ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料 ・動物実験委員会議事録 ・動物実験飼養保管施設調査票
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。） 動物実験計画の審査のほか、自己点検・評価方法の見直し等、動物実験等の適正な実施のために必要な審議を委員会で行った。また、令和 7 年度は全飼養保管施設の現地調査を実施した。
4) 改善の方針、達成予定時期 特になし。

2. 動物実験の実施状況

1) 評価結果 ☒ 基本指針に適合し、適正に動物実験を実施している。 ☐ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料 ・長崎大学動物実験計画書 ・動物実験実施状況・結果報告書 ・動物実験の自己点検票（様式 2-1）
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。） 動物実験計画書の申請から委員会による審査、学長承認、終了報告まで動物実験計画書 WEB 申請・審査システムにより一括で行っている。令和 7 年度に実施された動物実験に係る実施状況・結果報告書および動物実験の自己点検票（様式 2-1）はすべて提出されており、動物実験計画書どおりに実験が遂行されたことを確認した。
4) 改善の方針、達成予定時期 リキャップによる針刺し事故があったため、原則リキャップ禁止もしくはリキャップデバイスを使用するよう注意喚起を行う。

3. 安全管理に注意を要する動物実験の実施状況

1) 評価結果 ☒ 基本指針に適合し、当該実験を適正に実施している。 ☐ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 多くの改善すべき問題がある。 ☐ 該当する動物実験を行っていない。
2) 自己点検の対象とした資料 ・動物実験計画書に添付される「組換え DNA 実験承認申請書」 ・動物実験計画書に添付される「発がん物質等危険物質投与申請書」 ・動物実験計画書に添付される「病原体等取扱申請書、病原体等取扱施設申請書」
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。） 安全管理に注意を要する動物実験計画の審査の際には、関係法令等に準拠しているか、また、学内規則等に基づく承認等を得ているか等を書類の添付を求めるなどして、必要に応じて確認しており、問題は生じていない。
4) 改善の方針、達成予定時期 特になし。

4. 実験動物の飼養保管状況

1) 評価結果 ☐ 基本指針と飼養保管基準に適合し、適正に実施している。 ☒ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料 ・飼養保管施設一覧 ・飼養保管マニュアル ・緊急時対応マニュアル ・緊急時連絡網 ・実験動物飼養保管状況の自己点検票（様式 2-2） ・動物実験に関する検証結果報告書
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。） 一部の飼養保管施設において、温湿度の記録方法や微生物モニタリング項目等について、検討が必要な施設があった。
4) 改善の方針、達成予定時期 委員会による定期的な現地調査を実施し、飼養保管状況について指導を行う。

5. 施設等の維持管理の状況

1) 評価結果 ☐ 基本指針と飼養保管基準に適合し、適正に維持管理している。 ☒ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料 ・飼養保管施設一覧 ・実験動物飼養保管状況の自己点検票（様式 2-2） ・動物実験に関する検証結果報告書
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。） 一部の飼養保管施設において、入退室管理や空調管理について改善が必要な施設があった。
4) 改善の方針、達成予定時期 委員会による定期的な現地調査を実施し、施設の設備状況について指導を行う。

6. 教育訓練の実施状況

1) 評価結果 ☒ 基本指針と飼養保管基準に適合し、適正に実施している。 ☐ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料 ・実験動物を用いた動物実験等に係る(全学)教育訓練動画・日本語版資料・英語版資料 ・動物実験等に係る教育訓練受講者名簿 ・日本実験動物学会の教育動画（日本語版・英語版・中国語版）
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。） 飼養保管基準や基本指針、学内規則に則した教育訓練をオンライン形式で提供している。令和 8 年度より、確認テストを導入し、さらに受講期限を設け定期的な再教育に取り組んでいる。実験動物管理者に対しては、委員会より日本実験動物学会主催の「実験動物管理者等研修会」の受講を案内している。
4) 改善の方針、達成予定時期 特になし。

7. 自己点検・評価、情報公開

1) 評価結果 ☒ 基本指針と飼養保管基準に適合し、適正に実施している。 ☐ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 多くの改善すべき問題がある。

2) 自己点検の対象とした資料 ・ 令和 7 年度の動物実験に関する自己点検・評価報告書 ・ 長崎大学 HP ライフサイエンス研究に向けた取組 (https://www.nagasaki-u.ac.jp/gakusai/kenkyu/tebiki/animal.html)
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。） 委員会では自己点検・評価方法について、見直しを行った。また、令和 7 年度に受審した「動物実験に関する外部検証」の検証結果報告書を HP に公開した。
4) 改善の方針、達成予定時期 特になし。

8. その他

（動物実験の実施状況において、機関特有の点検・評価事項及びその結果）

令和 7 年度に日本実験動物学会による「動物実験に関する外部検証」を受審し、動物実験の実施状況面において、指摘を受けた事項について、一部対応を済ませ、その他については対応中である。
--

動物実験に関する情報公開

長崎大学

2026 年 9 月

1. 動物実験委員会

動物実験委員会	役割*	所属部局	専門分野
委員長	②	医歯薬学総合研究科	ウイルス学、実験病理学
副委員長	③	医歯薬学総合研究科	外科系歯学、口腔再生医学、歯科医用工学
委員	①	環境科学部	生態学、環境学
委員	①	高度感染症研究センター	ウイルス学、獣医学
委員	①	病院	消化器外科学
委員	②	医学部	神経科学一般、薬理学、進化生物学
委員	②	熱帯医学研究所	ウイルス学
委員	③	医学部	ウイルス学,神経内科学
委員	③	薬学部	薬系衛生、生物化学、神経科学一般、薬理学
委員	④	教育学部	家政学、生活科学、食品科学
委員	⑤	水産学部	食品科学、栄養学、健康科学、水圏生命科学

(令和7年4月1日 現在)

- *① 動物実験等に関して優れた識見を有する者
 ② 実験動物に関して優れた識見を有する者
 ③ 自然科学分野の教授，准教授，専任の講師又は助教
 ④ 人文・社会科学分野の教授，准教授，専任の講師又は助教
 ⑤ その他学長が必要と認めた者

2. 令和7年度に飼養した実験動物の種類と概数

動物種	マウス	スナネズミ	ハムスター	ラット	モルモット	ト	ウサギ	ネコ	サル	イヌ	ブタ
飼養数	17938	65	58	3712	0	0	7	0	0	0	0

(令和8年3月31日 現在)

3. 令和7年度に実施承認されている動物実験計画数

動物実験計画数	368 件
---------	-------

4. 令和7年度の動物実験に関する教育訓練の実績

教育訓練受講者数	235 人
----------	-------

実施内容の概略（オンライン形式）

- 1.動物実験等を実施する研究機関の体制と基本方針
- 2.動物愛護管理法【法】と法令体系
- 3.飼養保管等基準【基準】と【解説】
- 4.長崎大学動物実験規則【規則】
- 5.飼養保管施設と実験室の設置承認の主な判断基準
- 6.動物実験に係る主な周知等
- 7.失敗例から学ぶ
- 8.動物実験計画書 WEB 申請審査システム
- 9.その他

5. 実験動物飼養保管施設の情報

施設を持つ部局数：	8 部局
施設の総数：	9 箇所

主要な飼養保管施設の名称	薬学部 動物飼養保管施設
	歯学部 動物実験飼養施設
	医歯薬学総合研究科 バイオメディカルモデル動物研究センター
	高度感染症研究センター 実験棟

（令和8年3月31日 現在）